

親 師 会 報

第 150 号

発行
新潟県立新津高等学校
親 師 会
☎0250(22)1920

会 長 挨拶

親師会長 田中義信



新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、決定的な収束の見通しがはっきりしない不確かな状況が続いております。小学校、中学校では学級閉鎖も出ているようです。これから本格化する大学受験に影響がなければよいと願うばかりです。

そのような状況の中、11月5日には創立100周年記念式典・記念講演会も1年遅れながら無事開催することができました。今更ながら新津高校の歴史と伝統に感銘いたした次第です。また、9月に実施された秋陵祭には親として初めて高校行事を体験でき楽しい思いをさせていただきました。各教室に分かれた催し物は私たちの時代にはなかった新鮮さを感じました。

昨年度よりYouTube配信となった高3生対象の大学入試直前説明会・進路懇談会は、時代に沿った新しい取り組みとなりました。新型コロナウイルスの影響下でのやむを得ない対応でしたが、メディアを使うやり方も意外と便利だと感じられた方も多いと思います。

さあ、高3生はいよいよ大学受験です。ワールドカップサッカーの日本代表のように下馬評を覆す活躍を期待します。君たちはまだ若い。その最大の武器を使って未来へチャレンジしてください。無限の可能性を秘めています。最後まであきらめずにベストを尽くしてください。

これからの親師会の活動にあたっては、これまで同様に先生方、会員の皆様、地域の皆様からお力添えを賜る場面が多々あると思いますが、改めてこれからもよろしく願いいたします。

次の百年に向けた新たな飛躍の第一歩

校長 小林英明



保護者の皆様には日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

11月5日には、本校の創立百周年記念式典・記念講演会を無事開催することができました。保護者の皆様からも様々なご協力をいただき、ありがとうございます。記念講演会では、日本テレビ報道局経済部解説委員で本校の同窓でもある近野宏明様から、「ニュースの現場から考える未来」と題してすばらしい講演をしていただきました。ワシントン支局長としてアメリカ大統領選挙を取材された経験や、ニュースのメインキャスターとしての経験を踏まえたお話は、とても興味深いものでした。「歴史を記録することで未来につなげたい」「異なる意見を知ると自分の視野が広がり、未来の判断材料が増える」と話されたことが印象に残っています。

さて、現在の世界を取り巻く環境は、大きな変革期にあるといえます。人々の生活は便利で豊かになり、エネルギーや食料の需要が増加し、寿命が伸びて高齢化が進んでいます。我が国では、少子化や地方の人口減少も深刻化しています。また、経済のグローバル化が進み、国際的な競争も激化し、富の集中や地域間の不平等といった面も生じてきています。世界史が大きく変わるような出来事も起こっています。そして、解決すべき社会的課題は複雑化しており、温室効果ガス排出の削減、持続可能な産業化の推進、貧困をなくすことや格差是正、さらにウィズコロナの生活をどう築いていくかといった対策が必要になってきています。

このように変化が急激で、将来の予測が難しい時代には、受け身で知識の量だけを増やす学習ではなく、主体的な学び、探究的な学びがより一層大切です。本校はここ数年間、探究学習に「Climb Up プラン」という名称をつけて、地域の課題解決学習や、学問的視点を持った課題研究などに取り組んできました。今年度から3年間、「三菱みらい育成財団」の探究助成事業に、新潟県で初となる採択を受けましたので、今後は地域や大学等の外部との連携を進めて、さらに探究を深めていきたいと考えています。

また、本校では新たな取組を進める一方で、開校以来脈々と受け継がれてきた徳育を重視する校風を大切にしていまいりました。本校の校訓「學ぶは高き人の道」は、不易の伝統精神であります。生徒たちには、この校訓を大切にするとともに、主体的に学び、自分の頭で考え、多様な人たちと協働して様々なことに取り組んでほしいと願っています。そして、「一人一人の多様な幸せが実現できる社会の創り手」、「持続可能な社会の創り手」になってくれることを期待しています。

結びになりますが、創立百周年記念式典が、次の百年に向けた新たな飛躍の第一歩となるように、生徒、保護者の皆様、学校、地域が力を合わせ、全力で取り組んでいきたいと思っておりますので、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

進路指導室より

進路指導部 石澤 佳代

はじめに

令和4年も残すところあと僅かとなりました。100周年記念の行事が行われ、新津高校の歴史を感じる1年でした。一時期は、進路指導室でも新型コロナウイルス感染予防のため、外部の方の訪問をお断りしてきましたが、今年度は、感染予防対策をお願いしながら大学関係者などの訪問を受け入れるようになりました。訪問者の中には、新津高校の卒業生という方々もいらっしゃる「新津高校生の活躍を期待しています」との励ましの言葉を頂いています。

総合的な探究の時間を中心に行っている「Climb Upプラン」に対して、今年度は、三菱みらい育成財団からの補助金を頂き活動しています。2年生は、興味ある事柄などから課題を設定し、新潟大学、新潟薬科大学、新潟青陵大学、敬和学園大学、新潟青陵大学短期大学部、新潟中央短期大学の先生方にアドバイザーとなっただきながら探究活動を行っています。10月にはタブレットを用い中間発表を行いました。1年生は、9月に区役所の方から講演を頂き、「新津高校生が描く未来予想図－8年後の秋葉区・私たちの秋葉区区ビジョン（SDGsの視点から秋葉区の課題を解決する）」をテーマとしてSDGsや秋葉区の資料などを参考に関心のある内容から課題を考え、グループをつくり解決する方策を考えています。アンケートを作成してまとめたり、学校外へ出かけていき役所や事業者の方々からお話を伺ったりするなど自ら活動する生徒が増えてきました。

3年生のこと

12月の三者面談で、受験校（国公立は候補校）と入試のスケジュールの確認が終了し、1月の大学入学共通テスト本番に向けて積極的な態度で演習に取り組んでいます。予想問題や過去問題を解く中で、解説をじっくり読まない、正解へのプロセスを確認しないなどの勉強を繰り返す人、穴を補強出来ない人は失敗しがちです。「演習→穴を発見→補強」というサイクルを確立して学習を進めて行くことが大切です。入試直前で不安を感じている人も多いと思いますが、「現役生は最後まで伸びる」、「練習での間違いが本番にいきる」を信じて、焦らず一つ一つ地道に取り組んでほしいです。

2年生のこと

3年ぶりに京都、奈良への修学旅行が行われ、その直後の10月中旬に生徒対象で次のような内容の進路講演会を行いました。

2年生は「志望校決定期」と一般的に言われ具体的な進路先や学部学科等の研究をする時期です。

また、「受験勉強」は3年生になってから行うものではありません。この時期の「受験勉強」とは、入試問題（難問）の挑戦ではなく授業で習った教科書レベルの問題を確実に解けるようにすることです。「受験生になる」ために志望理由を自分の言葉で言え、国数英を中心に学力を身につけてほしいと思っています。

また、勉強だけでなく部活動では、リーダーや選手として活動する時期になっています。部活動から得られるものは非常に多くあり、継続して取り組んできてよかったとほとんどの卒業生が語っています。勉強と部活動との両立が難しいと感じたときには、継続させるための工夫がないか、一度自分の生活を振り返ってほしいと思います。

1年生のこと

1年生は、この時期高校生活にも慣れ、緩みがちになります。進学を目指す全国の高校生との家庭学習時間の差が開き始めるのもこの時期です。今後、冬休み、高校入試の登校禁止期間、春休みと自分で自由に使える時間が多くなります。学校で出される課題だけでは無く、自らの苦手分野や伸ばしたい分野に時間を充てられる時期です。無計画に行うのではなく、自分が自由に使える時間を見据えた上で、学習や興味あることに取り組み有意義に時間を使ってほしいです。この時期に、沢山読書をしたという卒業生もいました。

最後に

2023年度入試の受験環境として、人口減少に伴い志望者が減少する一方、学部学科の新増設が進み国公立、私立大を問わず定員を増やす動きがあり競争緩和の状態です。特に、私立大学では、大規模大学で入学者確保のため、年々合格者数を増やす傾向があります。また、成長分野の人材不足を解消する目的で、デジタル、AI、脱炭素化、農業、観光などの分野で大学の機能強化にむけて、国がさまざまな方策を打ち出しています。4年先を考えた大学選びをする必要も感じます。

また、最近、共通テストの平均点が安定せず、点数が取りにくいことがあります。これまで、共通テストで7割が必要と考えられていた大学が、6割程度で合格できているという傾向もありました。自己採点結果に慌てず担任教員と相談し、しっかり志望大学の分析をした上で国公立大学や私立大学等への出願を行うことが望ましいと思われ

ます。1・2年生のため生徒面談月間が12月1日から1月6日まで設定されています。この期間をきっかけに、担任教員に限らず教科担当の教員と疑問や不安があったら気軽に相談してほしいと思います。

編集
後記

11月5日（土）、コロナ禍で1年延期となっていた創立100周年記念式典が無事に挙行されました。新津高校に関わる者の一人として、100年という歴史と伝統の重みを実感するとともに、これからの新たな歴史を創り出していく気概を持つ一日となりました。また生徒の皆さんも諸先輩方の言葉を胸に刻みながら、新津高校生としての自覚をさらに強めたことと思います。

学校行事の写真を掲載しました。紙面の関係で多くは紹介できませんが、生徒の奮闘ぶりや活躍ぶりが少しでも皆様に伝われば幸いに存じます。今後ともどうぞ宜しく願っています。